

令和6年度 前期

政務調査研究報告

飯田市議会公明党

報告者 宮脇 邦彦

視察先・調査事項

1.「市民主体のまちづくりと町内自治会」の取り組みについて

日時 令和6年6月25日13時30分～15時30分

場所 千葉県 千葉市

説明 市民自治推進課 古屋朗子 氏、浅野仁彦 氏、成田 拓 氏

2.「五城目地域活性化支援センター」の取り組みについて

日時 令和6年7月18日9時30分～11時30分

場所 秋田県 五城目町 BABAME BASE

説明 一般社団法人ドチャベンジャーズ 理事 丑田香澄 氏

「市民主体のまちづくりと町内自治会の取り組み」

～千葉市～



千葉県 千葉市の概要

- ・人口 約978,000人 (R5.04.01時点)
- ・面積約272km²
- ・令和3年1月1日市制100周年
令和4年4月1日政令指定都市移行
30周年を迎えた
- ・市木「ケヤキ」
市花「オオガハス」
- ・日本コンベンションセンター(幕張メッセ)、マリスタジアム等商業施設含め多数あり

市民を取り巻く環境の変化



Copyright (c) City of Chiba All rights reserved.

○社会経済情勢の変化

社会が取り組むべき課題が増大

しかも・・・課題は地域によって様々

○行政サービスの限界

増え続ける課題を、行政サービスのみで解決するのは困難



地域が抱える個々の課題にきめ細かく対応していくには、

地域の実情に合ったまちづくり

(=市民自治によるまちづくり) が必要

千葉市の町内自治会: 1,107の自治会が結成

(約285,000世帯 加入率 令和5年度末 60.6% 平成25年度末 70.6%)

市民自治によるまちづくり条例とは？



Copyright (c) City of Chiba All rights reserved.

市民参加及び協働に関する条例 (平成20年4月施行)

行政主導からの転換



全部改正

- ・アンケート
- ・100人ワークショップ
- ・市民プロジェクトチーム

市民自治によるまちづくり条例

(令和2年4月施行)

- ・**市民のまちづくりを後押し！**
- ・まちづくりにおける市民の役割や市の責務
- ・親しみやすさを目指した敬語表現

市民の役割と市の責務



Copyright (c) City of Chiba All rights reserved.

“将来に引き継ぎたいと思えるまち”を実現するため、

市民は まちづくりの担い手、市は市民を支える基盤

としての役割を担い、地域の実情に合ったまちづくりに取り組んでいきます。

市民



第4条 市民の役割(=まちづくりの担い手)

- 1 地域や市政に関心を持ち、課題に気付くこと
- 2 市民参加と協働の機会を積極的に活用すること
- 3 できるところから自立的に活動すること など

市



第9条 市の責務(=市民を支える基盤)

- 1 市政に関する情報を積極的に提供すること
- 2 市民参加と協働の機会を積極的に提供すること
- 3 市民の自立的な活動を推進すること
(町内自治会などの設立や活動の継続と発展に必要な支援など)

町内自治会とは



Copyright (c) City of Chiba All rights reserved.

・町内自治会

同じ地域に住む人たちが自主的に構成された、**最も身近な地域活動を行う団体**であり、自分たちの地域をより良くし、地域での結びつきを深めるために、地域のお祭りから高齢者の生活支援や避難所の運営まで、様々な活動に取り組んでいます。

第5条 町内自治会の役割

- 1 地域における市民相互の交流や親睦を図る活動に努めること
- 2 市・市民活動団体・事業者との連携を深め、地域課題解決に努めること
- 3 市民と市をつなぐ架け橋としての役割を認識し、市民の意見や市政に関する情報を収集するよう努めること
ex 千葉市町内自治会事務委託料、広報板の設置 等
- 4 自らの活動に関する情報を発信するよう努める

少子高齢化がますます進む中、誰もが明るく健やかに暮らし、地域の諸問題を解決していくためには、今後も、**町内自治会の力が必要**です。

町内自治会の活動

・町内自治会の活動

- ごみステーションの管理・清掃
- 防犯街灯の維持管理
- 防災訓練の実施
- 集団回収などによるリサイクル活動
- パトロールによる防犯・防災活動
- 子どもたちの登下校の見守り
- 高齢者の見守りや生活支援
- 公園や道路の清掃協力
- 広報資料の回覧
- 夏祭りや運動会の開催
- 敬老会の開催 etc



★町内自治会への支援

○町内自治活動に対する支援

- ・集会所の新築、建替え、修繕や借上げに対する補助
- ・町内自治会の負担軽減
(行政資料等の発送回数の見直しや手続きの電子申請化)
- ・町内自治会をまちづくり応援寄付金の対象団体に、等
(財源はふるさと納税の枠内)

○加入促進に向けた支援

- ・市内転入者への加入チラシ配布や大学新生への加入案内
- ・若い世代の地域活動促進に向けたワークショップ開催、等

★町内自治会への今後の取り組み

○多様な主体との連携による持続可能な活動の推進

・複雑多様化する地域課題の解決や町内自治会等の地域コミュニティ維持・強化を図るため、区役所が主体となって支援を行う「地域支援プラットフォーム」の構築に向けた取り組みを進める

《取り組み内容》

- ・市内の各地域に地域担当職員を配置
- ・誰もが気軽に地域の情報や地域団体を知ることができるホームページ「ぷらっと〇〇(地区名)」を開設
- ・町内自治会・大学・NPO等の情報交換会、マッチング交流会等の実施

千葉市 視察 まとめ



・政令指定都市規模でも地方同様の住民自治の悩みがあると共有出来、そこへの具体的な取り組みは参考になる。

・市民自治によるまちづくり条例を平成20年4月施行から12年で全部改正をしている。(令和2年4月施行:見直し版)

その経緯は、市民100人規模のワークショップやプロジェクトチームを作り、議論の場を様々展開している。更に、見直し版では、市民自治を「市民参加」「協働」「市民の自立的な活動」と定義しており分かり易い。

・Webアンケートでは、市内976人から回答を得ており、町内自治会への関心の有無、その理由等を丁寧に分析されている。

・市民意識多様化の中、自立的な活動となれるよう様々な取り組みが大切と学ばせて頂いた。

「廃校を活用した土着ベンチャー創出・ まちづくりの取り組み」について

～五城目町地域活性化支援センター-(BABAME/BASE)～



秋田県南秋田郡五城目町の概要

- ・人口 8,035人(2024.03.時点)
- ・面積 214.92km²
- ・高齢化率 51.4%(2023.07.時点)
- ・面積の8割が森林
木材の町、職人の町として発展
- ・町の木「すぎ」
町の花「やまゆり」
- ・中心部には約500年の伝統を誇る露店朝市が栄え、製材・家具・建具・打刃物・醸造業などが発達

●BABAME BASE とは、



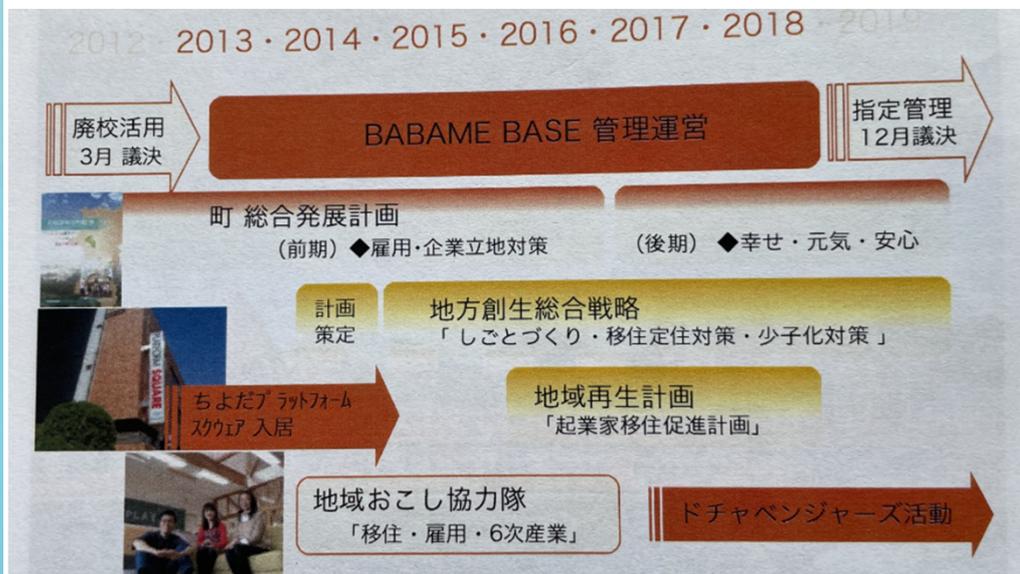
- ・小学校廃校(旧・馬場目小)を活用したレンタル オフィス
- ・2013年10月 町が開設
- ・従来型の大企業・製造業誘致だけではない新たなチャレンジ
- ・小さくても多様な挑戦者が集い地域から内発的に新しい事業が生まれていく環境づくりを中長期を見据えて行っていくビジョン

●BABAME BASE これまでの歩み

- ・町は、姉妹都市の千代田区「ちよだプラットフォームスクウェア」に東京拠点をおき企業誘致活動を展開 (都市と地方の連携)
- ・同施設内に本社を置く教育ベンチャーを誘致



●BABAME BASE これまでの歩み



●BABAME BASE これまでの歩み

小さな町から世界へ突き抜けていくほどの大きな視野で活動しよう、入居者有志でスローガンを掲げる
「世界一子どもが育つまち」

・ご縁づくり～



asobi基地in五城目 (2014.5)
ファミリー層などに向けた
来館のきっかけづくり

明日の五城目を語ろう(2014.7)
協力隊主催。町について住民と意見交換
+流しそうめんでき睦を深める場

魅力発信、来町者との関係性構築など、**ご縁**を大切にしながら
結果として、**町のファン**が増加 (関係人口創出を主目的にしない)



●ドチャベン

- ・BABAME BASEに入居するような起業家たち、地域に根差した挑戦を町の方が「土着ベンチャー」、略してドチャベンと命名



・田舎ならではの起業スタイルを発信

・県の移住起業家育成事業も活用し、県外から起業家が移住する流れ

・入居企業と地元の事業者（農家・菓子店・職人など）のビジネス連携や地域資源を活用した新商品なども誕生

●ドチャベン ～プラットフォーム～

・地域住民×まちづくり

- ・町民による学びと実践の場が生まれ、多様な町民発企画が誕生
- ・無理をせず「マイプロジェクト」で繋がり、広がる形



・ごじょうめ朝市plus

- ・町民女性+協力隊を中心に「五城目朝市わくわく盛り上げ隊」結成
- ・530年続く五城目朝市を、若者や女性が新たな挑戦を半歩踏み出す場として整備し町と共に「ごじょうめ朝市plus+（朝ぶら）」を開始
- ・多い時は80店舗、7000人の来場者がくる市場に成長



・女性×チャレンジ

- ・「オトナの学校シリーズ」等の企画を通じ、地域の女性達の起業への一歩を支援。女性×起業の機運が生まれ始めた



・空き店舗・空き家×新事業



●ドチャベン ～プラットホーム～

・教育環境の魅力化



・新小学校校舎建築プロジェクト



・越境した学びの環境づくり

・「教育留学」等の仕組みにより、越境し学び合う環境づくりを推進

町	ドチャベンジャーズ	
五城目町教育留学 新校舎「越える学校」(教育留学・みんなの学校)	 BABAME BASE「大学連携」(さとのば大学・ICU-AIU)	 朝市通り・空き家「滞在受入」(ADDRESS)
学びを軸にしたまちづくり 民間運用による地域おこし協力隊 2024.5～活動開始		

教育推進5種特別
教育フリースタイル協力隊、募集中。

お問い合わせ先: 暮らしづくり課 5F
www.dochabengazers.com/education/

●取り組みの成果

- ・BABAME BASE入居企業：3社→延べ42社 (2013～2023)
- ・幅広い業種が入居する、地域に根ざした起業家・企業の集積拠点として年間約5000人が県内外や海外から来館
- ・化学反応が起きる中で少しずつ子育て世帯や起業家人材の移住も増加

- ・2018年、BABAME BASEを中心とする地域おこし協力隊の取組が地方創生の優良事例に選定
- ・2020年、政府「ふるさとづくり事例集」にBABAME BASE掲載



人口8,000人の町に5,000人が来町している

●ドチャベンジャーズ

・中心市街地へ移転する企業も現れ始め、さらに新たな起業家が入居し育つ新陳代謝を持続的に生み出すべく、協力隊卒業生や入居企業らが「(社)ドチャベンジャーズ」創業。地域に根ざした挑戦を支える団体となっている。(2019～BABAME/BASEを委託管理運営)



BABAME/BASE 視察 まとめ

・当日は、五城目町役場ではなく“BABAME/BASE”へ直接伺った。

・施設を一通り見学させて頂き、これまでの取り組みを座学にて懇談的に伺うことが出来、有意義であった。

・当日は思いがけず、シェアオフィス入居者の東京大学(新領域創成科学研究科/客員共同研究員)の高橋今日子氏とお会いが出来、オフィスへ招待頂き懇談も快く引き受けて頂いた。

人口減少、少子高齢化が急激に進む中であって、「地域活性化をいかに進めるか、或いは地域コミュニティをいかに維持するか」の課題」を学問的に探究している学者との懇談は、刺激も大きく、非常に参考になった。

飯田市への対応の参考としたい。



理事の丑田香澄氏、高橋今日子研究員と共に

ご清聴ありがとうございました



映画 釣りキチ三平のロケ地 五城目町